

①事業名	地域情報通信基盤整備推進交付金事業		②連絡先	TEL	0772-46-3084 (直)	
				Mail	kikakuzaisei@town.yosano.lg.jp	
③市町村名	与謝野町		④事業主体	与謝野町		
⑤所管部署	企画財政課		⑥評価者名	企画財政課長		
⑦公表方法及び時期	HP : http://www.town-yosano.jp/ (H27.9.30)、広報誌 : 27年11月号					
事業の概要	⑧事業年度	H20年度 第1次補正予算		⑨事業完了日	平成22年3月29日	
	⑩総事業費	1,683,668,700円		⑪補助対象事業費	1,030,971,900円	
				⑫交付金額	343,657,000円	
	⑫-1財源内訳	区分		金額	備考	
		国庫補助金			343,657,000 円	地域情報通信基盤整備推進交付金
					10,900,000 円	緊急安心実現総合対策交付金
		起債			46,800,000 円	辺地対策事業債
					1,115,000,000 円	合併特例債
					59,400,000 円	その他観光債
		一般財源			107,911,700 円	
計			1,683,668,700 円			
⑬整備対象地域	与謝野町岩滝地域、野田川地域 (別紙のとおり)					
⑭条件不利地域	岩滝地域 (半島振興、豪雪地帯) 野田川地域 (一部辺地、半島振興、豪雪地帯)					
⑮事業の内容						
<p>■ 事業の目的</p> <p>既設の町営有線テレビ施設が整備されている与謝野町加悦地域から、岩滝地域、野田川地域を対象に F T T H による施設拡張を行うことで、地上デジタル放送難視聴地域の解消、自主番組放送、多チャンネル放送、データ放送、告知放送の提供及び超高速インターネットサービスを提供し、地域間の情報通信格差を是正し、合併後の新町の一体感の醸成を図る。</p> <p>■ 事業の概要</p> <p>与謝野町は条件不利地域で、民間事業者単独での整備は採算性の問題等から極めて困難な状況にある。そのため、加悦地域の公設公営で運営している有線テレビ施設を野田川地域、岩滝地域に拡張することが、地域間格差、情報格差、不公平感の解消を図る上で最も効果的かつ効率的な情報基盤整備であることが、与謝野町企画財政課プロジェクトチームによる研究及び与謝野町総合計画審議会 (地域振興部会) 審議結果を受け、与謝野町まちづくり及び行政改革推進本部の研究検討の結果導かれた。</p> <p>このことから、加悦地域で整備された有線テレビ施設を整備活用して、岩滝地域、野田川地域を対象に F T T H (P D S 型) による拡張整備を行い、地上デジタル難視聴地域の解消と高速ブロードバンド環境の整備を行うとともに、自主番組放送、多チャンネル放送、データ放送、告知放送、スタジオ設備の H D 化、イントラ設備追加対応等の施設整備を行うものである。</p> <p>よってこの事業により、町独自のデータ放送を含む地上デジタル放送サービス、都市部とのデジタルデバイトも解消する超高速インターネットサービス、防災情報や行政情報をお知らせする告知放送サービス等、「放送」「通信」「防災」が連携した様々なサービスを提供する。</p> <p>(1) 伝送路及びセンター施設</p> <p>①ヘッドエンド設備 (B S ・ C S I F 方式設備 (一式)、加入者管理装置 (一式)</p> <p>②光線路設備 (光変換装置、線路設備光ケーブル)</p> <p>③ H D 対応スタジオ設備 (一式)、監視装置 (一式)、局舎施設 (二式) : 野田川地区、岩滝地区各 1</p> <p>(2) サービスエリア</p> <p>野田川・岩滝地域の全域</p> <p>(3) 提供するサービス</p> <p>①地上デジタル放送サービス</p> <p>②インターネット接続サービス</p>						

事業の概要	<p>この情報基盤整備には2つの目的を兼ね備えている。それは、与謝野町のまちづくりの土台となる「地域情報通信基盤（情報の道）の整備」と、この「情報の道」を活用して地域の様々な情報や行政情報をテレビ放送やデータ放送、インターネット接続等を介してお届けするという「2つの目的」を一体的に取り組むことである。</p> <p>言い換えれば、役場や公共施設と各家庭を光ファイバー回線でつなぎ、いろいろな情報が流れるネットワーク「情報の道」をつくるというものです。また、地域間格差、情報格差、不公平感を解消する有線テレビもこの情報の道を活用するものですが、この「情報の道」を使って、福祉、教育、産業などいろいろな行政サービスを提供することも可能となり、高度情報化社会の時代にあって、地域活性化の起爆剤として、与謝野町の発展と福祉の向上になくてはならないと期待している。さらに、「いつでも、どこでも、何でも、誰でも」が情報ネットワークにつながるユビキタスネット社会の実現に向けた与謝野町の第一歩である。</p>
--------------	--

BB	⑯サービス開始日	平成22年4月1日						
	⑰サービス形態	公設公営（与謝野町有線テレビ）						
	⑱契約先	-						
		⑲整備計画時の目標		⑳実績				
		初年度	最終	H22年度末	H23年度末	H24年度末	H25年度末	H26年度末
	整備地域の世帯数	6,193	6,193	6,293	6,340	6,355	6,341	6,349
	加入世帯数	900	1,548	1,604	1,686	1,775	1,872	1,754
加入率 (%)	14.5%	25.0%	25.5%	26.6%	27.9%	29.5%	27.6%	

CATV	㉑サービス開始日	平成22年4月1日						
	㉒サービス形態	公設公営（与謝野町有線テレビ）						
	㉓契約先	-						
		㉔整備計画時の目標		㉕実績				
		初年度	最終	H22年度末	H23年度末	H24年度末	H25年度末	H26年度末
	整備地域の世帯数	6,193	6,193	6,293	6,340	6,355	6,341	6,349
	加入世帯数	3,097	4,645	5,332	5,380	5,438	5,525	5,572
加入率 (%)	50.0%	75.0%	84.7%	84.9%	85.60%	87.1%	87.8%	

	BB	CATV				
⑯提供サービス内容及び料金	<サービスプラン体系>					
	サービスとプラン	Aプラン	Bプラン	Cプラン	Dプラン	
	有線テレビ	●	●	-	-	
	光インターネット	-	●	●	-	
	F M告知放送	●	●	●	●	
	月額費用	1,000円	3,000円～	2,500円～	0円	
	・光インターネット料金体系					
		光インターネット料金	通信速度	有線テレビ	インターネット	合計
	B プラン	廉価プラン	10Mbps	1,000円	2,000円	3,000円
		基本プラン	30Mbps	1,000円	3,000円	4,000円
まんぞくプラン		100Mbps	1,000円	4,000円	5,000円	
C プラン	廉価プラン	10Mbps	-	2,500円	2,500円	
	基本プラン	30Mbps	-	3,500円	3,500円	
	まんぞくプラン	100Mbps	-	4,500円	4,500円	

②提供サービス内容及び料金

<KYT11ch自主放送番組等の状況>

■テレビ放送 ※放送担当（加悦地域振興課CATV係：職員6人（うち臨時職員1人））

①番組の構成

- ・月曜日 …… 小ニュース（知っとコーナー）、行事予定、瓦版総集編（先週の瓦版）
- ・火曜日 …… ふるさと瓦版（地域の話）・制作番組
- ・水曜日 …… ふるさと瓦版（地域の話）・制作番組
- ・木曜日 …… ふるさと瓦版（地域の話）・制作番組
- ・金曜日 …… 住民提供番組、広報ビデオ等
- ・土曜日 …… 住民提供番組、広報ビデオ等
- ・日曜日 …… 制作番組総集編（前週の制作番組）

※毎日20時放送、再放送21時・22時・翌日9時・12時15分・15時（計5回）

②番組内容

- ・ふるさと瓦版（地域のニュース）
- ・制作番組（企画番組）
- ・町議会関係 …… 議会運営委員会、議会初日、一般質問、予算決算審議
- ・選挙関係 …… 告示日に立候補者の紹介、投票状況、開票
- ・おくやみ等 …… 当日午後3時受付までの死亡者を当日放送、出生、婚姻を毎週月曜日に放送
- ・生中継 …… 町議会本会議、臨時会、成人式、町長町議選挙開票、特別イベント等

■文字放送

- ・行政情報等を文字のテレビ画面で24時間お知らせします。文字画面は合成音声で読み上げます。
- ・行政情報、各区イベント情報等

■データ放送

- ・町の気象情報、行政情報、生活情報、各区イベント情報、出生、お悔やみ、区からのお知らせ、ごみカレンダー等、京都府の防災防犯情報システムと連携

■FM告知放送

- ・加入世帯すべてに設置。停電した場合でも内蔵乾電池により告知放送受信が可能
- ・一般放送、緊急放送 ※Jアラート及び防災行政無線と自動連携
- ・斉放送、地域別放送、グループ放送が可能。また、携帯電話からのページング放送が可能（各区お知らせ等に活用）
- ・FM告知端末機からFMラジオ放送も選択できる（NHK京都、FM京都）

■NHK、民間テレビ放送の再送信（H27.3.3までデジアナ変換実施）

- ・地上波7ch、自主放送1ch
- ・衛星波（BS）NHK2ch、民間29ch+1ch、衛星波（CS）民間1波（約70ch）

■コマーシャル放送

- ・CM料金 …… 5,000円/30秒/1週間～、料金 8,000円/60秒/1週間～

■放送番組ダビングサービス（S-VHS、DVD、BRD）

- ・メディア持込（1番組/1本）300円（町内） 1,000円（町外）

■与謝野町有線テレビ（KYT3ch）加入・利用料金

- ・利用料1,000円/月
- ・加入料：10,000円 ※当分の間は無料

- ・引込工事負担金：実費 ※当分の間は無料
- ・宅内配線工事 実費 ※宅内工事業者にお問い合わせください。

(減免措置)

加入料及び利用料全額免除 …… 生活保護世帯

加入料及び利用料半額免除 …… 母子・父子家庭、75歳以上のみの高齢者世帯、世帯主が身障1、2級、視覚、聴覚障害、知的障害者 (A判定) 精神障害者 (1級)

<KYT-NET CATVインターネット接続サービス>

区分	金額	申込・支払先	内容
宅内工事費	実費負担	町内電気店	ONU (屋外) からルーター (屋内) までのLAN配線
B Bルーター	実費負担	各電気店	4,000円程度～ (有線・無線)
合計	約20,000円～		

このほかに、ブロードバンドルーター (必須) が必要です。また、必要に応じて、LANボード、ウイルス対策ソフト、設定料が必要です。各電気店にお問い合わせください。

■ 毎月の利用料

・有線テレビ+インターネット+FM告知 = Bプラン

※廉価プラン (10M) 3,000円/月、基本プラン (30M) 4,000円/月、満足プラン (100M) 5,000円/月

・インターネット+FM告知 = Cプラン

※廉価プラン (10M) 2,500円/月、基本プラン (30M) 3,500円/月、満足プラン (100M) 4,500円/月

(オプションサービス)

・グローバルIPアドレス割当サービス (平成25年2月～, 満足プラン限定のオプションプラン)

※設定変更手数料3,000円

※利用料 = 5,000円 (月額)

■ KYT-NETの特徴

・第1次プロバイダー～センター間：帯域保障 600Mbps (2回線)

・メールアドレス 家族全員無料

・メールBOX容量 (15M/1アカウント)

・ホームページ 1契約無料 (50M)

・プライベートIPアドレス (DHCP) での運用システム

・グローバルIPアドレス割当サービス (平成25年2月～, 満足プラン限定のオプションプラン)

※設定変更手数料 3,000円、利用料 5,000円/月額

・メールアドレス追加等変更手数料 500円

⑥提供サービス内容及び料金

⑦これまでの加入促進の取組

(1) サービス開始前に行った取り組み

【ニーズ調査】

・平成20年9月の地域情報化推進計画の策定に関するアンケート調査において、ニーズ調査を行う。

【住民説明】

・平成21年5月11日～7月2日にかけて24会場で町政懇談会を開催し、町長から有線テレビ事業について住民の皆さんへ説明をする。

・平成21年7月6日～7月24日にかけて14会場 (岩滝・野田川地域) で有線テレビ住民説明会を開催し事前加入申込を受付ける。

・平成21年6月から職員出前講座 (有線テレビ事業) として随時開催し事前加入申込を受付ける。

・平成21年6月に町職員全員に有線テレビ事業について研修会を開催。居住地区でのアナウンス活動を依頼する。

・平成21年8月に有線テレビ加入相談窓口を設置し事前加入申込を受付ける。

⑦これまでの加入促進の取組

【広報関係】

- ・平成20年9月から「広報よさの」にてCATV事業関連を毎月連載
- ・平成21年6月に有線テレビ事業住民説明会資料を個別全世帯配布
- ・平成21年9月に事前加入申込の無い世帯へ加入依頼を個別配布

【加入促進施策】

- ・加入料の免除（平成21年12月末加入申込受付に限り無料キャンペーンを実施）
- ・引込工事負担金の免除（平成21年12月末加入申込受付に限り無料キャンペーンを実施）
- ・有線テレビ放送等施設加入促進補助金交付要綱の創設（平成21年8月27日）
※テレビ宅内配線工事費個人負担分の補助支援（1万8千円上限／世帯）

（2）サービス開始時に行った取組み

【利用料金】

- ・平成22年4月からサービス開始したが5月末まで月額利用料を無料にした。

【加入促進施策】

- ・加入料の免除（平成24年3月末まで延長）
- ・引込工事負担金の免除（平成24年3月末まで延長）
- ・有線テレビ放送等施設加入促進補助金交付要綱の創設
※テレビ宅内配線工事費個人負担分の補助支援（1万8千円上限／世帯）
※補助金申請受付日を平成23年12月31日まで延長

（3）サービス開始以降に行った取組み（継続含む）

【加入促進施策】

- ・加入料免除の延長（当分の間として継続中）
- ・引込工事負担金の免除（当分の間として継続中）
- ・番組ガイドの全戸配布／毎月 ※未加入者に対して番組ガイドを通じて加入促進を図る（継続中）
- ・平成22年7月に加入申込の無い世帯へ、各自治会協力のもと手渡しによる加入依頼書を個別配布
- ・コミュニティ施設の有線テレビ放送等施設整備補助金交付要綱の創設（平成22年7月28日）
※地区コミュニティ施設の宅内配線工事費自治会負担分を補助支援（10／10補助）
- ・難視聴組合共同視聴施設撤去費補助金交付要綱の創設（平成22年6月8日）
※難視辺地共聴施設等の撤去費組合負担分を補助支援（10／10補助）
- ・KYT-NETメール外部受発信システムの導入によりメールサービスの向上を図る（平成24年3月30日）
※KYT-NETエリア外からのメールの送受信が可能となる。
※上位回線の増強を段階的に図る。（100Mbps×3回線の帯域保障→現在600Mbps帯域保障（2回線）
- ・障害情報等を素早く発信するためKYT-NETメーリングリストシステムの導入（平成24年6月29日）
- ・住民参画による協働でつくる番組づくりとして町民を対象にしたデジタルビデオ制作講習会を開催（平成25年8月10日）
- ・KYT-NET保有の払出し可能なグローバルIPアドレスを有効活用した割り当てサービスの開始（平成25年2月28日）
- ・災害時やメンテナンス時におけるTV電波の低減は時間を最小限にするため第二受信点施設改修を行う（平成26年10月31日）

【アンケート調査】

- ・与謝野町有線テレビ利活用調査として平成24年2月に住民アンケートを実施。
※町内在住の20歳以上の方「2,000人」を対象（無作為抽出）とし、885人（44.3%）からアンケート回答をいただく。
※報告書は別紙のとおり

【その他】

- ・与謝野町加悦地域を対象とした平成21年度地域情報通信基盤整備推進交付金事業に取り組み加入促進を図る。

<p>⑦これまでの加入促進の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・有線テレビ放送等施設基金への積立（26年度末残高：1億4,489万5千円） ・有線テレビスタッフの充実（正職員：3名,臨時職員：3名→正職員：6人（兼任1名）,臨時職員1名） ・防災行政無線とFM告知放送等との連携（Jアラート連携）
<p>⑧成果</p>	<p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタルデバイトの解消。 ・地上デジタル放送移行に伴う難視聴地域の解消と自主制作番組放送サービスの提供。 ・超高速インターネットサービスの提供。 ・FM告知放送（屋内）の提供。
<p>⑨効果</p>	<p>○効果</p> <p>既設の町営有線テレビ放送等施設が整備されている与謝野町加悦地域から、岩滝地域、野田川地域を対象にFTTHによる施設拡張を行うことで、地上デジタル放送難視聴地域の解消、自主番組放送、多チャンネル放送、データ放送、FM告知放送の提供及び超高速インターネットサービスを提供し、地域間の情報通信格差を是正し、合併後の新町の一体感の醸成が図れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3町合併で顕著化した与謝野町内における地域間情報格差（放送,通信,防災）が解消された。 ・有線テレビ自主放送番組等が視聴できない地域の解消により、与謝野町の一体感の醸成が進んだ。 ・インターネットブロードバンド環境（通信速度を確保）未整備地域の解消により都市部とのタイムラグがなくなった。 ・与謝野町内における公正なテレビ難視聴対策と地上デジタル支援対策が統一的に図れた。 ・FM告知放送（屋内）と防災行政無線（屋外）との連携（Jアラート含む）が可能になり緊急情報の伝達が迅速になった。 ・FM告知放送やメールマガジンにより行政情報等の伝達が迅速となった。 <p>【現状把握】</p> <p>加入促進策により加入率は順調に伸び、ブロードバンド及びケーブルテレビ加入率（平成27年3月31日現在）は当初計画数値を上回った。しかし、平成26年度に民間事業者2社が参入してきたことにより、ブロードバンド加入率が対前年度から「1.9ポイント」減（▲118世帯）している。与謝野町民の観点から見ればサービスの選択幅が広がったとはいえ喜ばしいことではあるが、次期更新に向けた採算面から考えると厳しいものがある。また、ケーブルテレビ加入率は順調に伸びているものの頭打ちになっているのは、1家屋2世帯住宅（1引込み）や特別養護老人ホーム入居者世帯数が分母に含まれているためと分析している。</p> <p>ブロードバンド加入率：当初計画（当初「14.5%」→最終「25.0%」）→26年度末実績「27.6%」 ケーブルテレビ加入率：当初計画（当初「50.0%」→最終「75.0%」）→26年度末実績「87.8%」</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロードバンド機器についてメーカー側からサポートの打ち切りが出されており、民間参入があった今、インターネット事業の存続事態について見極める必要がある。当面は在庫を確保し運用には差し支えないが民間移行も視野に入れ検討に入る。 ・自主制作番組等への更なる充実が望まれており活用の期待度も高い。そのため、住民参加型・協働による事業運営をテーマに掲げ、住民の皆さんとともに番組放送等の利活用促進を図る必要がある。

	BB	CATV
<p>⑩今後の取組及び方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・民間移行について研究を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役場組織の機構改革により、「係」から「課」体制に独立昇格させあらゆる面で強化を図る。 ・全世帯加入促進（特に、FM告知放送）を図る。 ・住民参加型・協働による事業運営をテーマに掲げ利活用を促進させる。

<p style="text-align: center;">③今後の取組 及び 方向性</p>	<p>○まとめ</p> <p>有線テレビ放送等施設は、FTTH方式による有線テレビネットワーク網を町により整備し、地上デジタル放送やデータ放送などの視聴、超高速インターネットへの接続、防災行政無線と連携したFM告知放送が全地域で利用可能となっています。さらに、公共施設間を結ぶ地域イントラネットも構築されており情報通信基盤は一定整備されています。</p> <p>・「放送」分野については、地上デジタル放送、多チャンネル放送（BS・CS衛星放送）、自主番組放送、自主文字放送、自主データ放送を運用しています。子どもから高齢者までが気軽に有線テレビを利用できるよう、内容の一層の充実が求められています。</p> <p>・「通信」分野については、都市部とのデジタルデバイドを解消する超高速ブロードバンド環境を実現していますが、通信分野の技術革新や民間事業者の新品の開発スピードは非常に速く、これらの研究や導入を検討する必要があります。また、平成27年1月から民間参入によりインターネットサービス等がスタートしたことにより、利用者の選択肢が増え喜ばしい反面、競争が激化してきている。</p> <p>・「防災」分野については、デジタル防災行政無線及び全国瞬時警報システム（Jアラート）と連携したFM告知放送を運用しています。機能を最大限発揮するため、すべての世帯が加入される取り組みを継続する必要があります。</p> <p>以上のことを踏まえ、有線テレビ放送等施設は、現在町が主体となって運営していますが、住民参加・協働による事業運営を推進しており、その強化のための体制作りが求められています。さらに、一層の住民ニーズにあった良質なサービスを提供できる「運営方式」を研究する必要があります。</p> <p>また、大規模改修や施設更新には大きな財政負担を伴うことから、計画的な基金積み立てを行うとともに財政負担を見据えた計画的な取り組みが課題となっています。</p>
---	---

平成20年度地域情報通信基盤整備推進交付金事業

岩滝地域・野田川地域（整備対象地域）

